



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2018年(平成30年)2月25日号 No.1752

## 目次

■ <b>ロシア・中央アジアと東アジア</b> .....	1
<b>一 経済とエネルギーをめぐる地政学一</b>	
■ 『ロシアNIS調査月報』2018年3月号のご紹介 .....	11
■ <b>エトセトラ</b> .....	12
月例報告会「日ロ経済協力の最前線サハリンの現状」/12	
ロシア工業団地セミナーin京都・in東京のご案内/12	
ウズベキスタン投資プレゼンテーションのご案内/12	
■ <b>トピックス</b> .....	12
プライメタルズ、カザフスタンで部品管理受注/12	
JBIC、ロシア極東に開発促進会社を設立/13	
日ロ官民連絡会議・ハイレベル作業部会の開催/13	
太陽日酸がヘリウム調達でガスプロムと契約/13	

## ロシア・中央アジアと東アジア 一 経済とエネルギーをめぐる地政学一

### はじめに

ロシアNIS貿易会は2018年1月30日、セミナー「ロシア・中央アジアと東アジア ～経済とエネルギーをめぐる地政学～」を開催した。日本は安倍政権発足以降、2015年の総理による中央アジア5カ国歴訪、総理とプーチン大統領との20回に及ぶ首脳会談、総理の強いイニシアチヴによる8項目の対ロ協力プランによって、積極的な対ロシア・中央アジア政策を打ち出している。一方、中国は「一帯一路構想」を打ち出し、ロシアおよび中央アジアとの関係において、政治・経済の両面で非常に強い存在感を発揮している。また、韓国も文在寅大統領の下で「新北方政策」を提唱し、ロシアおよび中央アジアとの関係強化に取り組み始めたところである。北朝鮮情勢の緊迫化も影響し、東アジアは今、大きく変動している。こうした東アジアの動きがロシア・中央アジアの政治・経済、それを支えるエネルギー産業やエネルギー安全保障にどのような影響を与えるのか。

本セミナーでは、ロシアとカザフスタンの気鋭の専門家が自国の観点から東アジアとの関係について報告を行った。以下では、セミナーの概要をお伝えする。